



第七十回記念

全日本東西対抗 剣道大会



日時

2024年9月15日 日

午前9時30分開会

場所

高松市総合体育館

香川県高松市福岡町四丁目36-1

主催 公益財団法人全日本剣道連盟

主管 香川県剣道連盟

後援

香川県 高松市 香川県教育委員会 公益財団法人香川県スポーツ協会

四国新聞社 NHK高松放送局 RNC西日本放送 KSB瀬戸内海放送

公益財団法人OHKスポーツ振興財団香川 公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。

「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。

この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。

お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、

節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、

豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟

第70回記念 全日本東西対抗剣道大会 日程表

9月14日(土)

番号	種目	場 所	時 間	所要時間
1	東軍練習	高松市総合体育館 第2競技場	15:50～16:40	50分
2	西軍練習	高松市総合体育館 第2競技場	15:50～16:40	50分
3	審判会議	高松市総合体育館 第1競技場	16:50～17:40	50分

*審判会議は、東軍・西軍の監督も参加する。

9月15日(日) 会場：高松市総合体育館 第1競技場

番号	種目	摘 要	時 間	所要時間
1	選手集合		9:00	
2	選手整列		9:25	
3	開会式		9:30～10:00	30分
4	日本剣道形		10:00～10:15	15分
5	試 合	女子の部(9試合)	10:25～11:37	1時間12分
6	試 合	男子の部(31試合)	11:47～15:55	4時間8分
7	閉会式	表彰	16:05～16:25	20分

ごあいさつ



公益財団法人 全日本剣道連盟

会長 網代忠宏

第70回記念全日本東西対抗剣道大会を、ここ「高松市総合体育館」において開催するに
当りご挨拶を申し上げます。皆さまのご協力により本大会が開催できますことに深く感謝申し
上げます。

本大会は、昭和15年宮崎市において開催された全日本東西対抗武道大会を発祥とし、昭
和29年より、全日本剣道連盟が継承し本大会名で復活し、以後毎年、全国各地を巡って開
催しており、幾多の名勝負が語り伝えられている由緒ある大会であります。香川県での開催は
昭和61年の第32回大会以来38年振りとなります。記念すべき70回の節目の年に、高松の
地で本大会が実施できますことは誠に喜ばしく思います。

大会は、全国を東西に二分し、剣道六、七、八段の心技ともに円熟した剣士各々31名を
選抜して行う対抗試合であります。選手構成は大将・副将を範士八段、三将より中堅までを
教士八段、十七将より二十八将までを七段、二十九将より先鋒までを六段としております。また、
女子の部におきましては、各年代より選抜された9名の選手による対抗試合となります。女子
選手の活躍を期待すると共に、今後も女子剣道の普及発展に努めて参りたいと思います。

試合時間につきましては、男女とも5分とし勝負の決しない場合は3分間の延長戦を行い、
勝敗が決しない場合は引き分けとなります。出場される剣士各位には、日頃の修練の成果を
遺憾なく発揮され、剣道界における最高レベルの試合を展開されることを切望いたします。

昨今、剣道人口の伸びにかげりが見られますが、中学校体育で武道が必修課となり伝統
文化として、子どもたちへ剣道の魅力が伝わる場になることを願っています。また、中・高年な
らびに女性剣士の増加、更には外国における剣道の普及発展には目を見張るものがあります。
全日本剣道連盟は、「剣道の理念」に則り、「剣道指導の心構え」の現場への浸透を図り、
剣道の普及発展に一層の努力を行い、わが国社会の発展に寄与する人造りを進めて行く所存
であり、各位のご尽力とご協力をお願いするものであります。

終わりに、本大会の開催に当たり、運営の労をとられます主管の香川県剣道連盟に対し、
またご後援を頂きました香川県・高松市・香川県教育委員会・公益財団法人香川県スポーツ
協会・四国新聞社・NHK高松放送局・RNC西日本放送・KSB瀬戸内海放送・公益財団法人
OHKスポーツ振興財団香川・公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの皆様方に、
衷心より感謝申し上げます。ご挨拶といたします。

ごあいさつ



香川県剣道連盟

会 長 三 原 悦 男

第70回記念全日本東西対抗剣道大会が、全日本剣道連盟主催の下、当香川県剣道連盟が主管としてここ高松市で開催することができ、大変喜ばしく感じているところであります。

全日本剣道連盟の網代会長を始め多くの役員・監督・審判の先生方、そして全国から選りすぐられた選手の皆さんようこそ讃岐の国「うどん県」香川にお越しいただき、誠にありがとうございます。歓迎を申し上げます。

この大会は、全日本剣道連盟が主催する9大会の一つであり、香川県での開催は38年ぶりであり、いかに香川の特徴を見出すかに苦心しました。このプログラムの表紙にあります「第70回記念全日本東西対抗剣道大会」という文字は、香川大学の先生のご協力によりまして弘法大師「空海」が書いたとされる文字をAIで再現したものであります。また、表の図柄は屋島から見下ろした源平合戦の様子を県立ミュージアムのご協力を得て掲載しているものであります。

今から38年前、高松市で開催された本大会で当時の香川県剣道連盟会長、香川県知事金子正則先生のあいさつの言葉に感銘を受け、今も私の脳裏に焼き付いております。その言葉は、「其争也君子」です。選手の皆さんは、多くの観客の目と心を魅了し、後世に語り継がれる試合を展開していただきたいと思います。選手皆さんのご活躍とご健闘を祈念しております。

また、大会が終わって時間の許される方は、瀬戸内の島々を中心とした瀬戸内海国立公園や源平合戦の壇ノ浦を見下ろす屋島、国の特別名勝栗林公園、海の神様として知られている金刀比羅宮など有名な観光地がたくさんありますので、一箇所でも讃岐路を観光してお帰りいただければありがたいと思います。

最後になりましたが、この大会に向けてご指導・ご支援を頂きました全日本剣道連盟を始め先催県であります大分・兵庫・沖縄県などの各剣道連盟、並びに多くの関係各位に対して感謝申し上げます。

ごあいさつ



香川県知事 池田豊人

「第70回記念全日本東西対抗剣道大会」が香川県で開催されることを心からお慶び申し上げます。全国各地から選りすぐりの剣士の皆様が御来県されることを、県民を代表して歓迎いたします。

「日本剣道界最高峰の大会」といわれ、歴史と伝統ある本大会が、ここ香川の地で開催されることは、本県の剣道の競技力向上や普及に大きく寄与するものであり、開催に御尽力してこられた公益財団法人全日本剣道連盟、香川県剣道連盟をはじめ、関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、厚く感謝申し上げます。

剣道は、日々の稽古により、心身を鍛錬して人間形成を目指す武道であり、国内だけでなく、世界各地の多くの方に親しまれている、日本を代表する武道の一つであります。

香川県は、「多様なスポーツ環境づくり」に力を入れています。身近な場所でライフステージに応じた多様なスポーツ活動が実践できるよう、総合型地域スポーツクラブの育成支援や指導者の養成、スポーツに親しむ機会の提供、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの環境整備に取り組んでいるところであり、老若男女問わず、親しまれている剣道には大きな期待を寄せています。

大会に出場される剣士の皆様におかれましては、熱い闘志と日々鍛錬された最高峰の技術を存分に発揮し、気迫に満ちた名勝負を繰り広げるとともに、大会を通じて東西の皆様が交流を深め、思い出深い大会になれば幸いです。

また、ご来県いただいた皆様には、本場の讃岐うどんやオリーブなどを御賞味いただくとともに、瀬戸内海の美しい風景など、香川の魅力を存分に味わっていただきたいと思います。

本大会の御成功と、選手並びに関係者の皆様のますますの御活躍、御健勝をお祈りいたします。

ごあいさつ



高松市長 大西 秀 人

「第70回記念全日本東西対抗剣道大会」が、ここ高松市において盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただきました選手並びに関係者の皆様を、高松市民を代表しまして、心から歓迎いたします。また、全日本剣道連盟が主催する3大大会「全日本剣道選手権大会・全日本都道府県対抗剣道優勝大会」と並ぶ日本剣道界最高峰の大会が昭和61年以来、38年ぶりに本市で開催されますことを大変喜ばしく思っております。

さて、剣道は「礼に始まり礼に終わる」と言われるとおり、礼儀を重んじ、心身の鍛錬と人格の涵養に資するものであり、青少年の健全な人間形成にも大きく寄与するものと考えています。

現在、本市では「高松市スポーツ推進計画」を策定し、成人の週1回以上のスポーツ実施率70%を基本目標に、各種施策に取り組んでいるところであり、本市での本大会の開催は、剣道の更なる普及・向上はもとより、市民のスポーツ振興に大きな役割を果たしてくれるものと確信しております。

今回参加される選手の皆様は、全国から選抜された精鋭ばかりと伺っております。日頃の稽古の成果を存分に発揮され、熱戦が繰り広げられますことを御期待申し上げますとともに、試合後は、お互いの健闘を称え、親睦・交流を深めていただくなど、本大会が意義深いものとなりますことをお祈り申し上げます。

なお、せっかくの機会でございますので、日本三大水城の一つである高松城跡「玉藻公園」や、特別名勝「栗林公園」、源平の古戦場「屋島」など、本市が誇る景勝地を御覧いただきますとともに、本場の「讃岐うどん」や、瀬戸内海の新鮮な海の幸などを御賞味いただければ、幸いに存じます。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり御尽力をいただきました全日本剣道連盟および香川県剣道連盟をはじめとする関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会の御成功と、皆様の益々の御健勝、御多幸を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

大会次第

1. 開会式

- (1) 役員・選手整列
- (2) 国歌斉唱
- (3) 優勝旗返還 西軍大将 剣道範士 船津晋治
- (4) 挨拶 (公財)全日本剣道連盟会長 網代忠宏
- (5) 祝辞 香川県知事 池田豊人
- (6) 祝辞 高松市長 大西秀人
- (7) 歓迎の言葉 香川県剣道連盟会長 三原悦男
- (8) 関係者紹介
- (9) 試合上の注意 審判長 中田琇士
- (10) 花束贈呈
- (11) 選手退場

2. 公開演武

- 日本剣道形 打太刀 剣道 教士八段 桑原慶二
- 仕太刀 剣道 教士八段 玉浦寛二

3. 試合

- 女子の部 9試合
- 男子の部 31試合

4. 閉会式

- (1) 選手整列
- (2) 表彰
- (3) 挨拶
- (4) 役員・選手退場

表彰

- 1 優勝には、賞状ならびに優勝旗、賞品を授与する。
第二位には、賞品を授与する。
- 2 優秀試合賞
格の高い且つ感動的な試合に対しては、選手双方に全日本剣道連盟より賞品を授与する。
- 3 優秀選手賞
優秀選手には、全日本剣道連盟より賞品を授与する。

第70回記念 全日本東西対抗剣道大会(女子の部)要項抜粋

1. 趣 旨

女子剣道の技能向上と、より一層の普及発展を図ることを目的として、全国を二分し、女子剣士の認識を深めようとするものである。

2. 東西の分け方

- (1) 東軍は福井県、愛知県、岐阜県、三重県より以東。
- (2) 西軍は滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県より以西。

3. 両軍の編成と選手の構成

- (1) 監督 各1名(男子の部と兼任)、選手 各9名
- (2) 構成 ア 大将・副将は年齢50歳以上の者。
 - イ 3将より中堅は、年齢40歳以上、49歳以下の者。
 - ウ 6将・7将は、年齢30歳以上、39歳以下の者。
 - エ 次鋒・先鋒は、年齢20歳以上、29歳以下の者。段位は制限しない
(年齢の基準は大会前日とする)

4. 選出方法

- (1) 監督は、全日本剣道連盟(以下、全剣連という)会長が委嘱する。
- (2) 選手は、各都道府県剣道連盟(以下、各連盟という)から推薦された候補者を、全剣連会長が委嘱した選手選考委員会で選考し、選出する。この場合、若干の補欠を設ける。

5. 審判員

審判長1名、審判員12名を全剣連会長が委嘱する。

6. 組合せ

- (1) 組合せは、選手選考委員会で決定する。
- (2) 参加申込後、選手に事故が生じて出場不可能の場合は、補欠選手の中より充当する。

7. 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則による。
- (2) 試合は、3本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、3分の延長戦を1回のみ行い、先に1本取った者を勝ちとする。それでも勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- (3) 試合は東西各9名の選手による、勝者数法とするが、勝者数、取得総本数共に同数の場合は、引き分けとする。

第70回記念 全日本東西対抗剣道大会(男子の部)要項抜粋

1. 趣 旨

本大会は剣道の真価を示すものとして全国を東西に二分し、各層における卓越した剣士を選抜して対抗試合を行うものであり、1940年2月に始まった由緒ある行事を継承して、全剣連設立以来開催している。

2. 東西の分け方

- (1) 東軍は福井県、愛知県、岐阜県、三重県より以東。
- (2) 西軍は滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県より以西。

3. 両軍の編成と選手の構成

- (1) 監督 各1名(女子の部と兼任)、選手 各31名
- (2) 構成 ア 大将・副将は、全日本剣道連盟(以下、全剣連という)選手選考委員会で選考し、選出する。
 - イ 3将より中堅は、教士八段受有者で年齢60歳以下の者。
 - ウ 17将より28将は、七段受有者で年齢46歳以下の者。
 - エ 29将より先鋒は、六段受有者で年齢33歳以下の者。
(年齢の基準は大会前日とする)

4. 選出方法

- (1) 監督は、全剣連会長が委嘱する。
- (2) 選手(大将・副将は除く)は、各都道府県剣道連盟(以下、各連盟という)から推薦された候補者を、全剣連会長が委嘱した選手選考委員会で選考し、選出する。この場合、若干の補欠を設ける。

5. 審判員

審判長1名、審判員12名を全剣連会長が委嘱する。

6. 組合せ

- (1) 組合せは、選手選考委員会で決定する。
- (2) 参加申込後、選手に事故が生じて出場不可能の場合は、補欠選手の中より充当する。

7. 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則による。
- (2) 試合は、3本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、3分の延長戦を1回のみ行い、先に1本取った者を勝ちとする。それでも勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- (3) 試合は東西各31名の選手による、勝者数法とするが、勝者数、取得総本数共に同数の場合は、引き分けとする。

第70回記念 全日本東西対抗剣道大会 役員

● 大会会長	(公財) 全日本剣道連盟会長	網代忠宏
● 大会副会長	(公財) 全日本剣道連盟副会長	真砂威
	(公財) 全日本剣道連盟副会長	藤原崇郎
	(公財) 全日本剣道連盟副会長	伊藤哲朗
	香川県剣道連盟会長	三原悦男
● 大会顧問	(公財) 全日本剣道連盟相談役	上田憲幸
	(公財) 全日本剣道連盟相談役	児嶋克
	(公財) 全日本剣道連盟相談役	福本修二
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	大嶽將文
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	小倉昇
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	忍足功
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	梯正治
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	黒郷源慈
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	小坂達明
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	島野泰山
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	末平佑二
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	鈴木康生
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	中田琇士
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	牧瀬憲保
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	三宅一志
	(公財) 全日本剣道連盟審議員	目黒大作
	(公財) 全日本剣道連盟顧問(医師関係)	宮坂昌之
	(公財) 全日本剣道連盟顧問(医師関係)	宮坂信之

● 大会参与

武田牧雄	三上順一	小松誠	安部美知雄
小笠原宏志	井上雅勝	長谷川弘一	水田重則
白石正範	小林一隆	栗原憲一	幸野實
荻莊誠	南信廣	大門進	片山外一
二木むつみ	二橋高弘	堤俊彦	中森博文
中野正堂	伊吹文明	長榮周作	吉田克法
世耕弘成	神谷明文	藤田長久	田中秀和
中西章	岸田芋	高木弘伸	渡邊三則
藤川和秋	青柳俊彦	川上春生	三浦悟
尾方正照	橋口光博	野村良三	親川光俊

● 大会委員長

(公財)全剣連専務理事 中谷行道

● 大会副委員長

(公財)全剣連普及担当常任理事 蒔田実

(公財)全剣連審判担当常任理事 香田郡秀

(公財)全剣連女子担当常任理事 佐藤厚子

● 大会委員

上浦かなえ	軽米満世	篠原政美	高橋俊昭
谷勝彦	内藤常男	長尾進	濱崎満
櫻井美香	秋山知子	池田公律	井島章
太田健一郎	岡嶋恒	小田佳子	笠村浩二
金井優子	木下博文	久保木優	佐伯浩美
高橋昭博	常田政邦	俊野徹人	成瀬朋恵
灰谷達明	本多進一	武藤士津夫	山本洋一
横須ます子	吉岡成子	吉田泰将	奈良隆
安保洋子	小風明	吉田篤生	

● 実行委員長

藤井勝幸

● 実行副委員長

松原徹 高澤彰 諏訪恵美

● 実行委員

小林晋一 加古恵 高橋嶺 長濱直弥

斎藤諒 深見亮太 鈴木淳子 新美俊太郎

和栗諒人 野澤豪

大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

あなたの竹刀は基準を満たしていますか？

長さ？

重さ？

太さ？



動画で
チェック!!



第70回記念 全日本東西対抗剣道大会 競技役員

実行委員会会長	三原悦男						
実行委員会副会長	藤井勝幸	山神眞一	松本政司				
実行委員長	藤井勝幸						
実行副委員長	松本政司	村上 誠	香西新五	旭 国雄			
事務局 長	諏訪恵美						
事務局 次長	松原賢司						
事務局 会計	須賀原久美子	川筋大作					
事務局 員	楠 康弘	西山和輝	山崎史暁				
監 事	北隅重美	矢野一廣					
総務部 長	大林誠二						
総務班 長	藤井美子						
総務副班 長	立川真美	宮本吉彦	栞島恵子				
総務 係	江崎誠一	横山正輝	山崎史暁	吉田勝洋			
受付 係	立川真美	西角貴子	吉田香代	瀧本京子	松岡伊早子	秋山理絵	
	石川真大	小川和也	岡西貴史	佐々井寿弥			
レセプション係	旭 国雄	宮本吉彦	栞島恵子	島本千春	坂本育未	小林孝洋	
案内誘導係	谷本多代	坂本育未	岡奈々夢	吉永 愛	松下寛長	松川直人	
物品販売係	宮本吉彦	若佐ゆかり	美濃麻波				
接待 係	栞島恵子	林 亜岐	松永由紀	加藤春美	山崎絵里子	丸岡友美子	
	高原登代	宮崎奈美	広瀬 望	椎崎枝利子	西角貴子	吉田香代	
	坂本育未	瀧本京子	岡奈々夢				
企画班 長	白川弘治						
企画副班 長	鱈目貴支						
広報 係	小林孝洋	松本一晃	森 雄哉	濱野圭一郎	宇賀雄一郎		
競技式典部長	香西新五						
競技式典副部長	橋本征治	村上盛彦					
式典班 長	竹下真司						
式典副班 長	松本若菜	河村愛弓					
式典 係	松本若菜	立岩洋輝	小川和真	島本千春	雉鳥史人		
進行 係	竹下真司	氏家幹雄	山崎喬暁				

放送係	河村愛弓	小山順子	好井剛	尾寄秀典		
賞状係	楠見浩三	福原毅	宮本賢作	松本琢司	久米みのり	
観客誘導係	千葉直人	田村聡	市原雅斗	村上聖彦		
場内警備係	松崎哲雄	中井康夫	国方洋治	井下震二	横井俊高	
競技班長	山内啓一					
競技副班長	坂口茂樹	久保泰博	木村繁	鳥居弘毅		
時計係	鳥居弘毅	銭谷健吾	藤原良仁	前田光貴	河本明久	
掲示係	久保泰博	葛西賢祐	森本融	内堀聡一郎	西宇直矢	
記録係	森川周士	井下武徳	稲垣大地	井上直太郎	小島靖典	
表示係	宮田武	銭谷颯士	清水孝英	安西凌	菊池彰	
選手係	坂口茂樹	松本和明	山下涉	久枝小太郎		
審判係	木村繁	今西一征	竹下玄真	寒川祥		
練習会場係	小川勝	村上将彦	笠井晋太郎	山下純矢	續木秀樹	喜田兼司
救護係	渋谷整	広瀬望	井手千穂			
宿泊・輸送部長	井上孝					
宿泊班長	中村浩一郎					
宿泊副班長	西山和輝					
宿泊係	中村浩一郎	谷口公廣	亀岡政哉	矢野辰弥	氏部崇之	藤本達哉
輸送・警備班長	岡本俊之					
輸送・警備副班長	増田明彦					
輸送係	神木実	青野和大	横田肇	香川修慶	名越直大	富田彰憲
駐車場係	岡本俊之	中岡樹紀亜	玉井僚	吉川真三基	米健汰	黒川淳一
	國方直樹					
警備係	増田明彦	二神裕太	中川雄介	前田泰男	高木守佃	淳志
補助員	香川大学剣道部員		津田高校剣道部員		高松北高校剣道部員	
	高松東高校剣道部員		高松中央高校剣道部員		高松商業高校剣道部員	
	高松第一高校剣道部員		高松南高校剣道部員		英明高校剣道部員	
	大手前高松高校剣道部員		高松西高校剣道部員		尽誠学園高校剣道部員	
	琴平高校剣道部員		星槎国際高校剣道部員			

審判長



範士
中田 琇士
東京都

審判員



範士
石塚 美文
大阪府



範士
亀井 徹
熊本県



範士
末平 佑二
石川県



範士
氏家 道男
東京都



範士
塚本 博之
東京都



範士
古川 和男
北海道



範士
西川 清紀
東京都



範士
大城戸 功
愛媛県



範士
佐藤 桂生
兵庫県



範士
東 良美
愛知県



範士
谷 勝彦
群馬県



範士
松田 勇人
奈良県

公開演武（日本剣道形）



打太刀
教士八段
桑原 慶二



仕太刀
教士八段
玉浦 寛二

第70回記念 全日本東西対抗剣道大会 監督・選手(女子の部)

東軍

西軍

東京都

はまさき みつる
濱崎 満

監督

兵庫県

ふたごいし たかし
二子石 貴資



- ① 範士八段 ② 75歳
- ③ 専修大学
- ④
- ⑤ 全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
全日本剣道選手権大会
全日本選抜剣道八段優勝大会
- ⑥ 熊本県



- ① 範士八段 ② 73歳
- ③ 熊本県立大津高等学校
- ④ 園田学園女子大学剣道師範
- ⑤ 全日本東西対抗大会
全日本剣道選手権大会
全日本選抜八段優勝大会
国民体育大会
- ⑥ 熊本県

埼玉県

おがわ りりか
小川 梨々香

先鋒

福岡県

むらた ももこ
村田 桃子



- ① 四段 ② 25歳
- ③ 日本体育大学
- ④ 会社員 (伊田テクノス株式会社)
- ⑤ 全日本実業団女子剣道大会 優勝2回
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 優勝
- ⑥ 新潟県



- ① 五段 ② 25歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 福岡県警察 教養課
- ⑤ 全日本女子剣道選手権大会 三位
全国警察剣道大会 優勝
- ⑥ 福岡県

神奈川県

まつもと ちか
松本 智香

次鋒

大阪府

よこやま まゆ
横山 万優



- ① 五段 ② 28歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 神奈川県警察
- ⑤ 世界剣道選手権大会 団体優勝2回
全日本女子剣道選手権大会 三位
全国警察剣道選手権大会 二位
- ⑥ 福岡県



- ① 五段 ② 26歳
- ③ 近畿大学
- ④ 警察官 (大阪府警察)
- ⑤ 全国警察大会 優勝、準優勝 (団体)
全日本女子選手権大会 三位 (第62回)
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 出場4回
全国警察剣道選手権大会 出場
- ⑥ 静岡県

東京都

こんどう みひろ
近藤 美洸

7将

兵庫県

きむら あゆみ
木村 歩由実



- ① 六段 ② 31歳
- ③ 法政大学
- ④ 警察官 (警視庁 第六機動隊)
- ⑤ 世界大会 個人優勝
全日本選手権 三位2回
全国警察大会 個人・団体優勝
- ⑥ 神奈川県



- ① 六段 ② 31歳
- ③ 大阪体育大学
- ④ 兵庫県警察
- ⑤ 全国警察剣道選手権大会 ベスト8 (個人)
全日本女子剣道選手権大会 ベスト8
全日本学生剣道女子優勝大会 三位×2 (団体)
- ⑥ 高知県

東軍

神奈川県

まつもと みづき
松本 弥月

6将



- ① 錬士六段 ② 32歳
- ③ 法政大学
- ④ 神奈川県警察
- ⑤ 世界剣道選手権大会 団体優勝3回
世界剣道選手権大会 個人優勝2回
全日本女子剣道選手権大会 優勝2回
全国警察選手権大会 優勝
- ⑥ 福岡県

西軍

和歌山県

すえなが まり
末永 真理



- ① 錬士七段 ② 35歳
- ③ PL学園高等学校
- ④ 社員(一般社団法人み・ゆーじ)
- ⑤ 全日本女子選手権大会 優勝3回二位1回 三位4回
世界大会 団体優勝4回 個人二位2回
全国警察大会 団体優勝1回 二位1回
全国警察大会 個人優勝5回 二位1回 三位2回
- ⑥ 大阪府

秋田県

かとう ゆか
加藤 由佳

中堅



- ① 六段 ② 40歳
- ③ 筑波大学
- ④ 教員(秋田県立秋田北高等学校)
- ⑤ 全日本東西対抗 出場
全日本女子選手権 出場
国民体育大会 出場
全国教職員大会 出場
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 出場
- ⑥ 秋田県

岡山県

こづの ゆか
小津野 祐佳



- ① 教士七段 ② 43歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 岡山県警察
- ⑤ 世界剣道選手権大会(優勝4回)
都道府県対抗剣道優勝大会(優勝2回)(三位2回)
全日本女子選手権(優勝2回)(三位5回)
都道府県対抗女子剣道優勝大会(優勝1回)(二位3回)(三位1回)
東西対抗剣道大会(出場10回)
国民体育大会(優勝1回)(二位2回)(三位3回)
- ⑥ 岡山県

茨城県

そうま さおり
相馬 沙織

4将



- ① 錬士六段 ② 42歳
- ③ 筑波大学
- ④ 教員(茨城県立勝田高等学校・勝田中等教育学校)
- ⑤ 全国中学校剣道大会 出場
全国高校総合体育大会 団体五位(2年)、個人三位(3年)
全日本学生優勝大会 優勝(3年)、五位(4年)
全日本学生剣道選手権大会 優勝(4年)、三位(3年)
全国教職員大会 三位2回
全日本女子選手権大会 出場
家庭婦人大会 二位
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 二位、三位、五位
第74回国民体育大会 優勝
- ⑥ 茨城県

熊本県

おがた ゆき
緒方 有希



- ① 教士七段 ② 44歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 教員(菊池女子高等学校)
- ⑤ 全日本女子剣道選手権大会 優勝
世界剣道選手権大会 女子団体優勝
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 優勝
全日本東西対抗剣道大会 出場
全国教職員剣道大会 女子個人優勝
- ⑥ 熊本県

山梨県

ひらつか きょうこ
平塚 恭子

3将



- ① 教士七段 ② 46歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 教員
- ⑤ 第40回全日本女子剣道選手権大会 優勝
第12回世界剣道選手権大会 団体優勝
- ⑥ 山梨県

兵庫県

むらやま かおり
村山 香織



- ① 教士七段 ② 49歳
- ③ 園田学園女子大学
- ④ 警察官(兵庫県警察学校)
- ⑤ 全日本女子選手権大会 出場
都道府県対抗剣道大会 出場 第三位
都道府県対抗女子剣道大会 出場 第三位
国民体育大会 成年女子の部 優勝・準優勝
全国警察選手権大会 出場
- ⑥ 大阪府

東軍

西軍

埼玉県

むらやま ちなつ
村山 千夏

副将

長崎県

ふくだ みさこ
福田 美佐子



- ① 教士七段 ② 50歳
- ③ 筑波大学
- ④ 警察官(埼玉県警察)
- ⑤ 世界剣道選手権大会 優勝(団体)2回
全日本女子剣道選手権大会 出場25回 優勝5回 二位2回 三位1回
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
優勝1回 二位1回 三位3回
国民体育大会 優勝1回 二位1回
全日本東西対抗剣道大会 10回出場
全国警察剣道選手権大会 12回出場 優勝1回 三位2回
- ⑥ 新潟県



- ① 教士七段 ② 50歳
- ③ 筑波大学
- ④ 教員(長崎県立西陵高等学校 教諭)
- ⑤ 全日本選手権 第三位
国民体育大会 優勝
全国教職員剣道大会 個人優勝
- ⑥ 長崎県

東京都

やの ひろよ
矢野 比路代

大将

京都府

たなか ゆりか
田中 百合香



- ① 教士七段 ② 50歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 教職員(日大三)
- ⑤ 全日本実業団女子剣道大会(優勝3回 準優勝2回)
全日本女子剣道選手権大会 出場3回 ベスト16
世界剣道選手権大会 団体優勝 個人三位
全国都道府県対抗 出場
国民体育大会 四位
全日本東西対抗剣道大会 出場
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 優勝1回 三位1回
- ⑥ 茨城県



- ① 教士七段 ② 52歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 警察官(京都府警察)
- ⑤ 世界剣道選手権大会 団体優勝1回、準優勝1回
全日本女子剣道選手権大会 準優勝2回、三位3回
全日本東西対抗剣道大会 6回出場
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 優勝1回、三位1回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 準優勝1回
全国警察剣道選手権大会 優勝2回、三位3回
国民体育大会 優勝1回、準優勝1回
- ⑥ 鹿児島県

- ① 称号段位 ② 年齢
- ③ 最終学校名
- ④ 職業
- ⑤ 剣歴
- ⑥ 出身地

第70回記念 全日本東西対抗剣道大会 監督・選手(男子の部)

東軍

西軍

東京都

はまさき みつる
濱崎 満

監督

兵庫県

ふたごいし たかし
二子石 貴資



- ① 範士八段 ② 75歳
- ③ 専修大学
- ④
- ⑤ 全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
全日本剣道選手権大会
全日本選抜剣道八段優勝大会
- ⑥ 熊本県



- ① 範士八段 ② 73歳
- ③ 熊本県立大津高等学校
- ④ 園田学園女子大学剣道師範
- ⑤ 全日本東西対抗大会
全日本選手権大会
全日本選抜八段優勝大会
全日本都道府県対抗大会
国民体育大会
- ⑥ 熊本県

宮城県

たけだ なおひろ
武田 直大

先鋒

愛媛県

むらかみ てつひこ
村上 哲彦



- ① 六段 ② 33歳
- ③ 国土館大学
- ④ 高校教諭(宮城県石巻北高等学校)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場5回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場12回
全国教職員剣道大会 個人二位、三位、団体三位
国民体育大会 出場5回
- ⑥ 宮城県



- ① 六段 ② 31歳
- ③ 松山大学
- ④ 警察官(愛媛県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場3回
優勝1回
国民体育大会 優勝
- ⑥ 愛媛県

千葉県

やまもと だいき
山本 大喜

次鋒

京都府

ごうや りょう
合屋 龍



- ① 六段 ② 33歳
- ③ 国際武道大学
- ④ 千葉県警察
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
国民体育大会 出場
全国警察大会 団体・個人 出場
- ⑥ 奈良県



- ① 錬士六段 ② 32歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 警察官(京都府警察 警備部機動隊 警部補)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 4回 出場
全日本東西対抗剣道大会 出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
全国警察大会 団体二位優勝、個人三位
国民体育大会 三位
- ⑥ 福岡県

愛知県

よしたけ つよし
吉武 剛

29将

福岡県

くにとも れんたろう
國友 錬太郎



- ① 錬士六段 ② 33歳
- ③ 専修大学
- ④ 警察官(愛知県警察)
- ⑤ 全日本選手権大会 出場
都道府県対抗大会 二位
全国警察官大会 個人・団体 出場
国体 出場
- ⑥ 長崎県



- ① 錬士六段 ② 33歳
- ③ 国土館大学
- ④ 警察官(福岡県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場8回
(優勝1回、準優勝2回、ベスト8 2回)
国民体育大会 第三位
全日本都道府県対抗剣道大会 第三位
全日本東西対抗剣道大会 出場
- ⑥ 福岡県

東軍

西軍

岐阜県

の だ さとし
野 田 了

28将



- ① 錬士七段 ② 37歳
- ③ 岐阜大学
- ④ 警察官 (岐阜県警察学校)
- ⑤ 第67回国民体育大会 優勝
第63~65回全日本剣道選手権大会 出場
平成28年度全国警察選手権大会 準優勝
平成29年度全国警察剣道大会 第2部 3位
- ⑥ 長崎県

福岡県

とみまつ もとくに
富 松 資 国



- ① 錬士七段 ② 37歳
- ③ 専修大学
- ④ 警察官 (福岡県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権 出場2回
全国警察大会 団体・個人出場
(二部優勝 2回、二位1回、三位1回)
- ⑥ 福岡県

東京都

はたけなか こうすけ
畠 中 宏 輔

27将



- ① 教士七段 ② 37歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 公務員 (警視庁)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 三位
全国警察 個人・団体 優勝
全日本都道府県対抗優勝大会 優勝
国体 準優勝
全日本選抜剣道七段選手権大会 優勝
世界剣道選手権大会 出場
- ⑥ 三重県

香川県

まつもと かずあき
松 本 和 明



- ① 教士七段 ② 38歳
- ③ 香川県立高松桜井高等学校
- ④ 警察官 (香川県警察 機動隊 警部補)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場
国民体育大会 三位
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
全日本東西対抗剣道大会 出場
全国警察大会 1部 三位
- ⑥ 香川県

神奈川県

かつみ ようすけ
勝 見 洋 介

26将



- ① 錬士七段 ② 37歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 警察職員
- ⑤ 世界剣道選手権大会 団体優勝
全日本剣道選手権大会 優勝
全国警察剣道大会 団体優勝
- ⑥ 岡山県

愛媛県

じんの ようへい
神 野 洋 平



- ① 錬士七段 ② 38歳
- ③ 愛媛県立丹原高等学校
- ④ 警察官 (愛媛県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場2回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場1回
(ベスト16・優秀選手賞)
国民体育大会 出場 6回
全国警察剣道大会 出場12回 (3部二位)
全国警察選手権大会 出場2回
- ⑥ 愛媛県

千葉県

こたに あきのり
小 谷 明 徳

25将



- ① 錬士七段 ② 40歳
- ③ 国際武道大学
- ④ 警察官
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 二位
全国警察剣道選手権大会 二位・三位
国民体育大会 二位・三位
全日本都道府県対抗剣道大会 三位
全国警察剣道大会 三位
- ⑥ 千葉県

大阪府

ますだ りょう
升 田 良



- ① 錬士七段 ② 38歳
- ③ 中央大学
- ④ 警察官
- ⑤ 世界剣道選手権 団体優勝
全国警察剣道大会 団体優勝
全国警察剣道選手権 三位 (個人)
全日本選手権大会 出場
- ⑥ 愛媛県

東軍

西軍

三重県

かさはら こうすけ
笠原 孝輔

24将

徳島県

おおいし しんや
大石 真也



- ① 錬士七段 ② 40歳
- ③ 中京大学
- ④ 警察官 (三重県警察本部 警備部機動隊)
- ⑤ 全日本選手権大会 出場
国民体育大会 出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
全国警察選手権大会 出場
全国警察大会 出場
- ⑥ 和歌山県



- ① 錬士七段 ② 39歳
- ③ 茨城大学
- ④ 教員
- ⑤ 国民体育大会 出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
全国教職員剣道大会 出場
- ⑥ 徳島県

栃木県

すずき しんたろう
鈴木 慎太郎

23将

大阪府

おおきど さとる
大城戸 知



- ① 教士七段 ② 40歳
- ③ 筑波大学
- ④ 教員
- ⑤ 全日本選手権 出場
国体 優勝
全日本都道府県対抗 出場
全国教職員 団体準優勝
- ⑥ 栃木県



- ① 教士七段 ② 40歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 警察官 (大阪府警察)
- ⑤ 世界大会 団体優勝 個人出場
全日本選手権 出場
全日本都道府県大会 準優勝
全日本東西対抗 出場
全国警察官大会 団体優勝 個人優勝
国民体育大会 優勝
- ⑥ 愛媛県

秋田県

わしや わたる
鷺谷 和

22将

香川県

きのした ともなり
木下 智成



- ① 錬士七段 ② 41歳
- ③ 明治大学
- ④ 教員 (秋田県立聴覚支援学校)
- ⑤ 国民体育大会 出場
全国教職員大会 出場
全国都道府県対抗 出場
全日本学生優勝大会 出場
- ⑥ 秋田県



- ① 教士七段 ② 41歳
- ③ 東海大学
- ④ 警察官 (香川県警察 小豆警察署地域課長)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場
国民体育大会 三位
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
全日本東西対抗剣道大会 出場
全国警察大会 1部三位
- ⑥ 香川県

神奈川県

かめい はやと
亀井 隼人

21将

兵庫県

にしむら たけし
西村 健



- ① 教士七段 ② 44歳
- ③ 筑波大学
- ④ 警察職員
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 ベスト16
全国警察選手権大会 三位
- ⑥ 熊本県



- ① 教士七段 ② 42歳
- ③ 関西大学
- ④ 警察官 (兵庫県警察)
- ⑤ 全日本東西対抗剣道大会 3回目
全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道大会
全国警察剣道大会 (団体・個人)
国民体育大会
- ⑥ 兵庫県

東軍

東京都

うちむら りょういち
内村 良一

20将



- ① 教士七段 ② 44歳
- ③ 明治大学
- ④ 警察官
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 優勝3回 準優勝5回 三位1回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 優勝3回
全国警察剣道大会 団体優勝3回 個人優勝2回
世界剣道選手権大会 団体優勝3回 三位1回
コンバットゲームズ 優勝 国民体育大会 優勝
全日本選抜剣道七段選手権大会 準優勝3回 三位2回
東西対抗 6回目出場
- ⑥ 熊本県

西軍

兵庫県

あみしろ ただかつ
網代 忠勝



- ① 教士七段 ② 44歳
- ③ 法政大学
- ④ 警察官 (兵庫県警察)
- ⑤ 世界大会 出場
全日本選手権大会 出場
全日本都道府県大会 出場
全国警察大会 個人・団体出場
国民体育大会 出場
- ⑥ 兵庫県

静岡県

たかさか ゆうすけ
高坂 雄介

19将



- ① 錬士七段 ② 44歳
- ③ 東北学院大学
- ④ 静岡県警察 警護課長補佐
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場9回 第三位1回
国体 8回
全日本都道府県対抗剣道大会 4回
- ⑥ 宮城県

京都府

なかの たかひろ
中野 貴裕



- ① 教士七段 ② 44歳
- ③ 法政大学
- ④ 警察官 (近畿管区警察学校教官)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 ベスト8 2回
世界剣道選手権大会 出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 準優勝
国民体育大会 準優勝
全日本選抜七段選手権大会 優勝
全国警察大会 団体三位、個人準優勝2回
全日本東西対抗剣道大会 4回
- ⑥ 京都府

石川県

ほしの としゆき
星野 敏之

18将



- ① 教士七段 ② 44歳
- ③ 金沢大学
- ④ 石川県警察官 (石川県津幡警察署)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会 (団体・個人)
- ⑥ 石川県

香川県

おがわ かずや
小川 和也



- ① 教士七段 ② 45歳
- ③ 香川県立琴平高等学校
- ④ 警察官 (香川県警察 高松北警署地域二課)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場
国民体育大会 三位 2回
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
全国警察大会 出場 1部 三位
全国警察選手権大会 出場
- ⑥ 香川県

愛知県

うらかど たけし
浦門 剛

17将



- ① 教士七段 ② 46歳
- ③ 国際武道大学
- ④ 警察官 (愛知県警察)
- ⑤ 全日本東西対抗剣道大会
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
- ⑥ 愛知県

大阪府

きわだ だいき
木和田 大起



- ① 教士七段 ② 46歳
- ③ 中央大学
- ④ 警察官
- ⑤ 世界選手権 団体優勝
全国警察官大会 団体・個人優勝
全日本選手権 優勝
- ⑥ 三重県

東軍

神奈川県

たかなべ すすむ
高鍋 進



- ① 教士八段 ② 48歳
- ③ 筑波大学
- ④ 警察職員
- ⑤ 世界剣道選手権大会 団体・個人優勝
全日本剣道選手権大会 優勝
全国警察選手権 優勝
都道府県対抗剣道優勝大会 出場
国民体育大会 出場
- ⑥ 熊本県

中堅

徳島県

やまな のぶゆき
山名 信行



- ① 教士八段 ② 49歳
- ③ 国際武道大学
- ④ 警察官 (阿南警察署地域課)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
国民体育大会 出場
- ⑥ 京都府

長野県

たつみ あきひさ
立見 顕久



- ① 教士八段 ② 52歳
- ③ 京都産業大学
- ④ 会社員
- ⑤ 全日本都道府県剣道大会 優勝2回 三位1回
全日本東西対抗剣道大会 出場
全日本実業団剣道大会 優勝6回
全日本高壮年剣道大会 優勝3回
全日本学生選手権大会 3位
- ⑥ 兵庫県

15将

滋賀県

たかだ ひであき
高田 秀晃



- ① 教士八段 ② 49歳
- ③ PL学園高等学校
- ④ 警察官 (滋賀県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
- ⑥ 大阪府

富山県

しげとみ よういち
重富 洋一



- ① 教士八段 ② 51歳
- ③ 富山県立高岡工芸高等学校
- ④ 警察官
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
国民体育大会 出場 (優勝1回)
全国警察選手権大会 出場
全国警察剣道大会 出場
- ⑥ 富山県

14将

佐賀県

きたはら てつや
北原 哲也



- ① 教士八段 ② 53歳
- ③ 中央大学
- ④ 教員 (佐賀県教育委員会 東部教育事務所 所長)
- ⑤ (大学時代)
全日本学生優勝大会 優勝・準優勝
(教員時代)
国体、都道府県大会 出場
全国教職員大会 団体三位 (優秀選手)
- ⑥ 佐賀県

茨城県

かわさき しん
川崎 臣



- ① 教士八段 ② 52歳
- ③ 筑波大学
- ④ 教員
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 3回出場
国体 3回出場
東西対抗 3回出場
全国教職員大会 個人3回優勝 団体2回優勝
- ⑥ 奈良県

13将

大阪府

てらもと しょうじ
寺本 将司



- ① 教士八段 ② 49歳
- ③ 国際武道大学
- ④ 大阪府警察 剣道師範
- ⑤ 世界剣道選手権大会 団体・個人優勝
全日本剣道選手権大会 優勝
全日本都道府県対抗大会 優勝
全国警察剣道大会 団体優勝 個人準優勝
- ⑥ 熊本県

東軍

愛知県

ちかもと たくみ
近本 巧

12将



- ① 教士八段 ② 53歳
- ③ 愛知学院大学
- ④ 警察庁技官(中部管区警察学校)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 優勝
都道府県対抗剣道優勝大会 二位
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会 優勝
全国警察剣道大会
- ⑥ 岐阜県

西軍

岡山県

すずき ひろゆき
鈴木 裕之



- ① 教士八段 ② 52歳
- ③ 大阪体育大学
- ④ 岡山県警察
- ⑤ 全日本選手権 出場
全日本東西対抗剣道大会 出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会(優勝2回)
全国警察大会 出場
国民体育大会(優勝・三位)
- ⑥ 岡山県

石川県

すぎもと たくや
杉本 卓也

11将



- ① 教士八段 ② 56歳
- ③ 東海大学
- ④ 警察官(石川県珠洲警察署副署長)
- ⑤ 全日本選抜剣道八段優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国警察剣道大会(団体・個人)
- ⑥ 石川県

宮崎県

なつい たもつ
夏井 保



- ① 教士八段 ② 54歳
- ③ 宮崎工業専門学校
- ④ 共栄建設株式会社 代表取締役
- ⑤ 全日本都道府県対抗剣道大会 3回出場
国体 1回出場
- ⑥ 宮崎県

東京都

ひらお やすし
平尾 泰

10将



- ① 教士八段 ② 57歳
- ③ 東海大学
- ④ 警視庁警察官 警視庁剣道首席師範
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 出場(6回)
全日本選抜剣道八段優勝大会 出場(3回) 三位1回
全日本東西対抗剣道大会 出場
国民体育大会(優勝2回)
世界剣道選手権大会(団体優勝3回)
全国警察剣道大会(優勝5回)
- ⑥ 北海道

大分県

つつみ こうじ
堤 幸司



- ① 教士八段 ② 53歳
- ③ 大分私立大分高等学校
- ④ 警察職員(大分県警察剣道師範)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 6回出場
全国警察剣道選手権大会 第二位
全国警察剣道大会優勝(第3部)
国民体育大会 第二位、第三位
全日本都道府県対抗剣道大会 出場
全日本東西対抗剣道大会 出場
- ⑥ 大分県

東京都

やの まさゆき
矢野 雅之

9将



- ① 教士八段 ② 57歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 団体職員(公益財団法人全日本剣道連盟)
- ⑤ 全日本東西対抗剣道大会 2回出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 2回出場
国民体育大会剣道競技 3回出場 成年男子三位1回
寛仁親王杯剣道八段選抜大会 5回出場 三位1回
- ⑥ 東京都

熊本県

うえだ しんご
植田 慎吾



- ① 教士八段 ② 57歳
- ③ 日本体育大学
- ④ 教職員(熊本県立熊本北高等学校 教諭)
- ⑤ 全国教職員大会
国民体育大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
- ⑥ 熊本県

東軍

西軍

埼玉県

きくち ひろゆき
菊地 博之

8将



- ① 教士八段 ② 54歳
- ③ 栃木県立小山南高校
- ④ 警察官
- ⑤ 全日本剣道選手権大会 5回出場
全日本東西対抗剣道大会 4回出場
国民体育大会 6回出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 3回出場 準優勝1回
全国警察剣道大会 12回出場
全国警察剣道選手権大会 2回出場
- ⑥ 栃木県

福岡県

はら ただお
原 忠生



- ① 教士八段 ② 56歳
- ③ 鹿屋体育大学
- ④ 福岡県警察 剣道師範
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
国民体育大会
全国警察剣道大会
- ⑥ 福岡県

茨城県

なべやま たかひろ
鍋山 隆弘

7将



- ① 教士八段 ② 55歳
- ③ 筑波大学大学院
- ④ 大学教員(筑波大学)
- ⑤ 全国教職員剣道大会 団体優勝
国民体育大会 剣道競技 優勝
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 準優勝
全日本八段選抜剣道優勝大会 準優勝
- ⑥ 福岡県

鹿児島県

すえます まさのり
末益 正紀



- ① 教士八段 ② 55歳
- ③ 鹿児島商業高等学校
- ④ 警察官(鹿児島県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本選抜剣道七段選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会
国民体育大会
- ⑥ 鹿児島県

岩手県

あだち けいいち
安達 慶一

6将



- ① 教士八段 ② 59歳
- ③ 国際武道大学
- ④ 教員(花巻市立湯口中学校)
- ⑤ 国民体育大会出場
全国教職員大会出場
- ⑥ 岩手県

徳島県

たまだ しんさく
玉田 晋作



- ① 教士八段 ② 59歳
- ③ 日本体育大学
- ④ 教員(徳島文理高校教諭)
- ⑤ 全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
全日本選抜剣道八段優勝大会 出場
国体 出場
全国教職員剣道大会 出場
- ⑥ 徳島県

千葉県

いわきり きみはる
岩切 公治

5将



- ① 教士八段 ② 57歳
- ③ 国際武道大学
- ④ 教員(国際武道大学)
- ⑤ 全日本選抜剣道八段優勝大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国教職員剣道大会
- ⑥ 宮崎県

愛媛県

かどた むつし
門田 睦志



- ① 教士八段 ② 54歳
- ③ 松山大学
- ④ 警察官(愛媛県警察)
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会 優勝、準優勝
全国警察剣道大会 2部準優勝、3部優勝
全国警察剣道選手権大会
- ⑥ 愛媛県

東軍

西軍

北海道

えいが なおき
栄花 直輝

4将

兵庫県

あきやま まさひこ
秋山 雅彦



- ① 教士八段 ② 56歳
- ③ 東海大学
- ④ 警察職員(北海道警察)
- ⑤ 全日本選手権大会 優勝
世界剣道選手権大会 団体優勝3回 個人優勝
全日本八段選抜剣道大会 優勝3回
全日本七段選抜剣道大会 優勝2回
全日本都道府県対抗剣道大会 優勝4回
- ⑥ 北海道



- ① 教士八段 ② 57歳
- ③ 大阪体育大学
- ④ 教員(兵庫県立網干高等学校)
- ⑤ 全日本東西対抗剣道大会 出場
全日本都道府県対抗剣道大会 出場
全国教職員剣道大会 出場
- ⑥ 兵庫県

神奈川県

ありま ひろし
有馬 裕史

3将

兵庫県

さとう まこと
佐藤 誠



- ① 教士八段 ② 60歳
- ③ 東海大学
- ④ 教員(神奈川県立橋本高等学校)
- ⑤ 全日本東西対抗剣道大会
全日本都道府県対抗剣道優勝大会
国民体育大会
全国教職員剣道大会 団体三位 個人三位
- ⑥ 神奈川県



- ① 教士八段 ② 57歳
- ③ 宮崎県立高千穂高等学校
- ④ 兵庫県警察剣道副主席師範
- ⑤ 全日本選抜剣道八段優勝大会 出場
全日本剣道選手権大会 出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会 出場
全日本東西対抗剣道大会 出場
国民体育大会 出場
全国警察官剣道大会 個人・団体出場
- ⑥ 宮崎県

東京都

いしだ としや
石田 利也

副将

香川県

まつもと まさし
松本 政司



- ① 範士八段 ② 62歳
- ③ 大阪体育大学
- ④ 会社顧問
- ⑤ 全日本剣道選手権大会
全国警察官大会
世界剣道選手権大会
全日本選抜剣道八段選手権大会
- ⑥ 大阪府



- ① 範士八段 ② 61歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 警察職員
- ⑤ 世界剣道選手権大会 団体優勝 2回
全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全日本選抜剣道八段選手権大会 二位 2回
- ⑥ 香川県

東京都

みぎた しげあき
右田 重昭

大将

大阪府

ふなつ しんじ
船津 晋治



- ① 範士八段 ② 68歳
- ③ 国士舘大学
- ④ 大学教員
- ⑤ 全国都道府県対抗剣道大会 優勝
全国教職員剣道大会 優勝3回
寛仁親王杯八段選抜剣道大会 三位
- ⑥ 熊本県



- ① 範士八段 ② 68歳
- ③ 西海学園高等学校
- ④ 非常勤嘱託職員(甲子園学院中学校・高等学校剣道部師範)
- ⑤ 全日本選抜八段優勝大会 優勝2回・三位1回
第八回世界大会 団体優勝
全日本選手権大会
全日本東西対抗
国民体育大会 二位 3回
全国都道府県対抗 優勝 1回・二位 3回
全国警察官大会 団体優勝 2回・個人三位 1回
- ⑥ 長崎県

第70回記念 全日本東西対抗剣道大会 対戦表(女子の部)



	先鋒	次鋒	7将	6将	中堅	4将	3将	副将	大将		
 東軍 監督 濱崎 満	県名	埼玉	神奈川	東京	神奈川	秋田	茨城	山梨	埼玉	東京	 勝 分
	称段	四	五	六	六	六	六	七	七	七	
	氏名	小川梨々香	松本智香	近藤美洸	松本弥月	加藤由佳	相馬沙織	平塚恭子	村山千夏	矢野比路代	
	年齢	25	28	31	32	40	42	46	50	50	
	反則										
	有効打突										
 西軍 監督 二子石 貴資	有効打突									 勝 分	
	反則										
	県名	福岡	大阪	兵庫	和歌山	岡山	熊本	兵庫	長崎		京都
	称段	五	五	六	七	七	七	七	七		七
	氏名	村田桃子	横山万優	木村歩由実	末永真理	小津野祐佳	緒方有希	村山香織	福田美佐子		田中百合香
	年齢	25	26	31	35	43	44	49	50		52

試合時間	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

第70回記念 全日本東西対抗剣道大会 対戦表(男子の部)

	先鋒	次鋒	29将	28将	27将	26将	25将	24将	23将	22将	21将	20将	19将	18将	17将	
	県名	宮城	千葉	愛知	岐阜	東京	神奈川	千葉	三重	栃木	秋田	神奈川	東京	静岡	石川	愛知
	称段	六	六	錬六	錬七	教七	錬七	錬七	錬七	教七	錬七	教七	教七	錬七	教七	教七
	氏名	武田直大	山本大喜	吉武剛	野田了	畠中宏輔	勝見洋介	小谷明德	笠原孝輔	鈴木慎太郎	鷺谷和	亀井隼人	内村良一	高坂雄介	星野敏之	浦門剛
	年齢	33	33	33	37	37	37	40	40	40	41	44	44	44	44	46
	反則															
	有効打突															
	有効打突															
	反則															
	県名	愛媛	京都	福岡	福岡	香川	愛媛	大阪	徳島	大阪	香川	兵庫	兵庫	京都	香川	大阪
	称段	六	錬六	錬六	錬七	教七	錬七	錬七	錬七	教七	教七	教七	教七	教七	教七	教七
	氏名	村上哲彦	合屋龍	國友錬太郎	富松資国	松本和明	神野洋平	升田良	大石真也	大城戸知	木下智成	西村健	網代忠勝	中野貴裕	小川和也	木和田大起
	年齢	31	32	33	37	38	38	38	39	40	41	42	44	44	45	46
	有効打突															
	反則															

試合時間	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

中堅	15将	14将	13将	12将	11将	10将	9将	8将	7将	6将	5将	4将	3将	副将	大将	
神奈川 教八	長野 教八	富山 教八	茨城 教八	愛知 教八	石川 教八	東京 教八	東京 教八	埼玉 教八	茨城 教八	岩手 教八	千葉 教八	北海道 教八	神奈川 教八	東京 範八	東京 範八	 勝 分
高鍋 進	立見 顕久	重富 洋一	川崎 臣	近本 巧	杉本 卓也	平尾 泰	矢野 雅之	菊地 博之	鍋山 隆弘	安達 慶一	岩切 公治	栄花 直輝	有馬 裕史	石田 利也	右田 重昭	
48	52	51	52	53	56	57	57	54	55	59	57	56	60	62	68	
																 勝 分
徳島 教八	滋賀 教八	佐賀 教八	大阪 教八	岡山 教八	宮崎 教八	大分 教八	熊本 教八	福岡 教八	鹿児島 教八	徳島 教八	愛媛 教八	兵庫 教八	兵庫 教八	香川 範八	大阪 範八	
山名 信行	高田 秀晃	北原 哲也	寺本 将司	鈴木 裕之	夏井 保	堤幸 司	植田 慎吾	原忠 生	末益 正紀	玉田 晋作	門田 睦志	秋山 雅彦	佐藤 誠	松本 政司	船津 晋治	
49	49	53	49	52	54	53	57	56	55	59	54	57	57	61	68	

分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒	分秒
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

通算成績：男子（東軍27勝・西軍40勝・1引き分け）

回数	期日	会場	勝敗	個人成績
第1回	昭和29年(1954年) 11月28日	宮崎市 宮崎県営球場	対試合 西軍 19-11 東軍	特別選抜試合 第1位 中野八十二(東京) 第2位 渡辺敏雄(東京) 第3位 佐藤 顕(埼玉)
第2回	昭和30年(1955年) 12月11日	愛知県 名古屋市スポーツ会館	対試合 西軍 15-12 東軍	特別選抜試合 第1位 中倉 清(鹿児島) 第2位 佐藤 毅(新潟) 第3位 糸賀憲一(千葉) 第3位 小笠原三郎(栃木)
第3回	昭和31年(1956年) 4月29日	仙台市 宮城球場特設道場	抜き試合 西軍5人残り勝	第1位 榊原 正(愛知) 10人抜き 第2位 中倉 清(鹿児島) 9人抜き 第3位 杉江 憲(京都) 7人抜き
第4回	昭和32年(1957年) 4月28日	福岡市 スポーツセンター	抜き試合 西軍3人残り勝	第1位 伊保清次(東京) 10人抜き 第2位 阿部三郎(東京) 6人抜き 第3位 田島善人(佐賀) 6人抜き
第5回	昭和33年(1958年) 7月20日	札幌市 中島スポーツセンター	対試合 東軍 15(28点) - 15 西軍(26点)	特別選抜試合 第1位 菅原恵三郎(北海道) 第2位 萱場照雄(宮城) 第3位 緒方敬義(熊本) 第3位 六反田俊雄(大阪)
第6回	昭和34年(1959年) 4月19日	愛知県 犬山特設会場	抜き試合 東軍14人残り勝	第1位 鈴木守治(愛知) 11人抜き 第2位 伊保清次(東京) 8人抜き 第3位 大槻芳男(京都) 4人抜き
第7回	昭和36年(1961年) 9月24日	愛媛県 西条市体育館	対試合 西軍 16-14 東軍	特別選抜試合 第1位 伊保清次(東京) 第2位 津脇良夫(山口) 第3位 森島健男(東京) 第3位 鈴木守治(愛知)
第8回	昭和37年(1962年) 7月24日・25日	那覇市 琉球大学体育館	対試合 西軍 18-7 東軍	特別選抜試合 第1位 園田政治(大阪) 第2位 溝口満雄(鹿児島) 第3位 滝沢栄八(北海道) 第3位 菊池 伝(神奈川)
第9回	昭和38年(1963年) 3月17日	佐賀県体育館	抜き試合 西軍(大将戦)勝	第1位 遠藤 忠(神奈川) 第2位 高松英二(山口) 第3位 谷口安則(福岡)
第10回	昭和39年(1964年) 9月6日	仙台市 宮城スポーツセンター	抜き試合 東軍(大将戦)勝	優秀選手 第1位 桑原哲明(宮崎) 中野八十二(東京) 第2位 高橋 要(宮城) 大浦芳彦(福岡) 第3位 伊保清次(東京) 松原輝幸(福岡)
第11回	昭和40年(1965年) 4月25日	福岡市 九電記念体育館	抜き試合 東軍(大将戦)勝	優秀選手 第1位 谷川猛美(香川) 第2位 秋山福三郎(群馬) 高松英二(山口) 第3位 森島健男(東京) 原田源次(岩手)
第12回	昭和41年(1966年) 7月14日	札幌市 中島スポーツセンター	抜き試合 西軍10人残り勝	第1位 今井三郎(新潟) 第2位 錦戸 真(長崎) 第3位 井上晋一(京都)
第13回	昭和42年(1967年) 9月24日	鹿児島市 鹿児島県営体育館	対試合 東軍 12-11 西軍	第1位 堀田國弘(兵庫) 第2位 児嶋 克(鹿児島) 第3位 山根 昇(岡山) 宇都武夫(大阪)
第14回	昭和43年(1968年) 9月15日	福島市 福島県体育館	対試合 東軍 11-9 西軍	第1位 佐藤博信(東京) 第2位 村山慶佑(兵庫) 第3位 好川 忠(福島) 吉村正純(鹿児島)
第15回	昭和44年(1969年) 9月14日	広島県立体育館	対試合 西軍 13(29点) - 13 東軍(28点)	第1位 古田 坦(山口) 第2位 原 緑(東京) 第3位 大久保和政(埼玉) 翁長良明(愛知)
第16回	昭和45年(1970年) 9月20日	高知県民ホール	対試合 西軍 13-10 東軍	第1位 川崎道男(佐賀) 第2位 堀田國弘(兵庫) 第3位 山根 昇(岡山) 大久保和政(埼玉)
第17回	昭和46年(1971年) 9月19日	新潟県 新潟市営体育館	対試合 東軍 10-9 西軍	第1位 板東治雄(埼玉) 第2位 石原勝利(熊本) 第3位 山崎正平(新潟) 井上晋一(京都)
第18回	昭和47年(1972年) 9月17日	秋田市 秋田県立体育館	抜き試合 東軍3人残り勝	第1位 佐藤博信(東京) 11人抜き 第2位 谷口安則(福岡) 10人抜き 第3位 石橋駒蔵(佐賀) 5人抜き
第19回	昭和48年(1973年) 9月30日	岡山市 岡山武道館	対試合 西軍 10-8 東軍	第1位 奥島快男(京都) 第2位 青木彦人(大分) 第3位 三宅大五郎(岡山) 岩谷文雄(秋田)
第20回	昭和49年(1974年) 9月29日	奈良県 奈良市中央体育館	対試合 西軍 21-14 東軍	
第21回	昭和50年(1975年) 9月28日	岐阜市 岐阜県民体育館	抜き試合 西軍12人残り勝	第1位 伊藤雄三郎(京都) 第2位 小林三留(大阪) 第3位 小沼宏至(東京) 優秀選手 松原輝幸(福岡)

通算成績：女子（東軍5勝・西軍21勝・1引き分け）

回次	期日	会場	勝敗	個人成績
第22回	昭和51年(1976年) 9月26日	福岡県 福岡市民体育館	抜き試合 西軍6人残り勝	第1位 村山慶佑(兵庫) 第2位 矢野博志(東京) 第3位 中居他輝夫(富山) 優秀選手 緒方敬夫(熊本) 翁長良明(愛知) 有満政明(鹿児島) 塩崎春雄(愛媛)
第23回	昭和52年(1977年) 9月18日	静岡市 静岡県立草薙体育館	対試合 西軍19-14 東軍	
第24回	昭和53年(1978年) 10月1日	熊本県 熊本市体育館	抜き試合 西軍20人残り勝	第1位 小川 功(大阪) 第2位 池田健二(福岡) 第3位 森山 衛(東京)
第25回	昭和54年(1979年) 9月30日	茨城県 水戸市民体育館	対試合 東軍18-16 西軍	
第26回	昭和55年(1980年) 9月28日	鳥取市 鳥取武道館	対試合 引き分け 東軍16(32点) - 16 西軍(32点)	
第27回	昭和56年(1981年) 9月20日	徳島市 徳島市立体育館	対試合 西軍19-15 東軍	
第28回	昭和57年(1982年) 9月26日	千葉県 千葉県武道館	対試合 西軍19-16 東軍	
第29回	昭和58年(1983年) 9月18日	大分市 大分県立総合体育館	対試合 西軍17-16 東軍	
第30回	昭和59年(1984年) 9月30日	伊勢市 県営総合競技体育館	対試合 東軍16-14 西軍	
第31回	昭和60年(1985年) 9月22日	大宮市 埼玉栄高等学校体育館	対試合 西軍19-5 東軍	
第32回	昭和61年(1986年) 9月8日	高松市 市民文化センター別館	対試合 西軍13-12 東軍	
第33回	昭和62年(1987年) 9月27日	京都市 武道センター本館	対試合 西軍13-12 東軍	
第34回	昭和63年(1988年) 9月18日	青森県 青森市民体育館	対試合 西軍19-11 東軍	
第35回	平成元年(1989年) 10月8日	栃木市 宇都宮市体育館	対試合 西軍17-12 東軍	
第36回	平成2年(1990年) 9月30日	兵庫県 文化体育館	対試合 東軍18-13 西軍	
第37回	平成3年(1991年) 9月29日	札幌市 中島体育センター別館	対試合 東軍15-14 西軍	
第38回	平成4年(1992年) 9月27日	福岡県 福岡市民体育館	対試合 西軍15-10 東軍 女子の部 西軍3-2 東軍	
第39回	平成5年(1993年) 9月19日	神奈川県 横浜文化体育館	対試合 東軍21-14 西軍	
第40回	平成6年(1994年) 9月25日	山口県 スポーツ文化センター	対試合 西軍19-16 東軍	
第41回	平成7年(1995年) 9月24日	岩手県 岩手県営武道館	対試合 西軍19-16 東軍	
第42回	平成8年(1996年) 9月29日	長崎県 長崎県立総合体育館	対試合 東軍18-17 西軍	
第43回	平成9年(1997年) 9月28日	山梨県 山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園武道館	対試合 西軍18-17 東軍 女子の部 東軍3-2 西軍	優秀試合賞 男子 山田博徳(熊本) - 忍足 功(千葉) 女子 横須ます子(大阪) - 堀部あけみ(栃木) 優秀選手賞 男子 染谷恒治(千葉) 近藤 亘(徳島) 山野辺辰美(青森) 倉澤 正(東京) 女子 藤田弘美(福岡)
第44回	平成10年(1998年) 9月27日	岐阜県 大垣市武道館	対試合 東軍22-13 西軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 山田博徳(熊本) - 岡田一義(三重) 島野大洋(大阪) - 福本修二(神奈川) 優秀選手賞 男子 岡本和明(東京) 小山 正洋(静岡) 神崎 浩(大阪) 山中洋介(鳥取) 山中茂樹(埼玉) 女子 宮崎弥生(岐阜)
第45回	平成11年(1999年) 9月26日	和歌山県 和歌山ビッグホール	対試合 西軍21-14 東軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 西川清紀(東京) - 外山光利(宮崎) 矢野博志(東京) - 有満政明(鹿児島) 優秀選手賞 男子 原 忠生(福岡) 宮崎史裕(神奈川) 加治屋速人(埼玉) 藤原崇郎(広島) 有馬光男(大阪) 女子 寺地里美(東京)

通算成績

回次	期日	会場	勝敗	個人成績
第46回	平成12年(2000年) 9月24日	鳥取県立武道館	対試合 西軍19-16 東軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 宮崎正裕(神奈川) - 石田利也(大阪) 目黒大作(秋田) - 山田博徳(熊本) 優秀選手賞 男子 清野 忍(山梨) 佐賀 豊(北海道) 山中洋介(鳥取) 藤元 巖(京都) 島本正勝(東京) 女子 石田真理子(大阪)
第47回	平成13年(2001年) 9月23日	群馬県 ぐんま武道館	対試合 西軍18-17 東軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 福井賢次(香川) - 鷺見象平(千葉) 高橋俊昭(京都) - 鈴木敏雄(北海道) 優秀選手賞 男子 大澤規男(埼玉) 神崎 浩(大阪) 久保木文夫(神奈川) 俣木正喜(鹿児島) 白石正範(栃木) 女子 長門康子(広島)
第48回	平成14年(2002年) 9月29日	藤枝市 静岡県武道館	対試合 西軍18-17 東軍 女子の部 東軍4-1 西軍	優秀試合賞 男子 神崎 浩(大阪) - 寺地種寿(東京) 島野泰山(大阪) - 千葉 仁(東京) 優秀選手賞 男子 稲富政博(佐賀) 亀井 徹(熊本) 島野大洋(大阪) 近本 巧(愛知) 金木 悟(静岡) 女子 藤田和恵(福岡)
第49回	平成15年(2003年) 9月28日	滋賀県立体育館	対試合 東軍19-16 西軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 栄花直輝(北海道) - 矢野宏光(愛媛) 伊藤次男(神奈川) - 内濱誠志(兵庫) 優秀選手賞 男子 大澤規男(埼玉) 三宅 一(神奈川) 目黒大作(秋田) 竹中健太郎(鳥取) 堤 慶一(山口) 女子 福田美佐子(長崎)
第50回	平成16年(2004年) 9月26日	愛媛県武道館	対試合 西軍20-15 東軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 宮崎正裕(神奈川) - 松本政司(香川) 宮原昇治(静岡) - 江口忠文(大分) 優秀選手賞 男子 佐藤充伸(宮城) 武田牧雄(北海道) 山中洋介(鳥取) 松尾好郎(長崎) 藤原崇郎(広島) 女子 坪田祐佳(岡山)
第51回	平成17年(2005年) 9月25日	鹿児島県 鹿児島アリーナ	対試合 東軍22-13 西軍 女子の部 西軍4-1 東軍	優秀試合賞 男子 栄花直輝(北海道) - 佐藤 誠(兵庫) 忍足 功(千葉) - 山田博徳(熊本) 優秀選手賞 男子 寺地賢二郎(東京) 末平佑二(石川) 豊村東盛(東京) 神崎 浩(大阪) 亀井 徹(熊本) 女子 遠藤律子(秋田)
第52回	平成18年(2006年) 9月24日	新潟県 柏崎市総合体育館	対試合 西軍21-14 東軍 女子の部 西軍4-1 東軍	優秀試合賞 男子 石橋正久(福岡) - 安永宗司(静岡) 高橋俊昭(京都) - 宮澤保行(宮城) 優秀選手賞 男子 小山正洋(静岡) 佐藤桂生(兵庫) 重松 隆(滋賀) 濱崎 満(東京) 藤原崇郎(広島) 女子 稲垣恵理(岡山)
第53回	平成19年(2007年) 9月16日	堀原運動公園 茨城県武道館	対試合 東軍18-17 西軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 山村勝弘(三重) - 内濱誠志(兵庫) 栗田和市郎(東京) - 山中洋介(鳥取) 優秀選手賞 男子 居村吉記(石川) 神崎 浩(大阪) 江口忠文(大分) 忍足 功(千葉) 千葉 仁(東京) 女子 藤田和恵(福岡)
第54回	平成20年(2008年) 9月14日	岡山県体育館 (桃太郎アリーナ)	対試合 西軍21-14 東軍 女子の部 東軍3-2 西軍	優秀試合賞 男子 宮崎正裕(神奈川) - 松本政司(香川) 白石正範(栃木) - 高橋俊昭(京都) 優秀選手賞 男子 清野 忍(山梨) 石田利也(大阪) 難波康弘(岡山) 谷 勝彦(群馬) 藤原崇郎(広島) 女子 古谷崇子(東京)
第55回	平成21年(2009年) 9月13日	埼玉県 越谷市立総合体育館	対試合 西軍18-17 東軍 女子の部 西軍4-1 東軍	優秀試合賞 男子 佐藤 誠(兵庫) - 岡本和明(東京) 末野栄二(鹿児島) - 濱崎 満(東京) 優秀選手賞 男子 平野誠司(徳島) 佐賀 豊(北海道) 井島 章(千葉) 神崎 浩(大阪) 梯 正治(東京) 女子 下川美佳(鹿児島)
第56回	平成22年(2010年) 9月19日	佐賀県総合体育館	対試合 西軍18-17 東軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 下橋和彦(鹿児島) - 栄花直輝(北海道) 藤原崇郎(広島) - 中田秀士(東京) 優秀選手賞 男子 江藤善久(大阪) 坂田秀晴(山梨) 松下悦郎(鹿児島) 金木 悟(静岡) 二子石貴資(兵庫) 女子 庄島幸恵(佐賀)

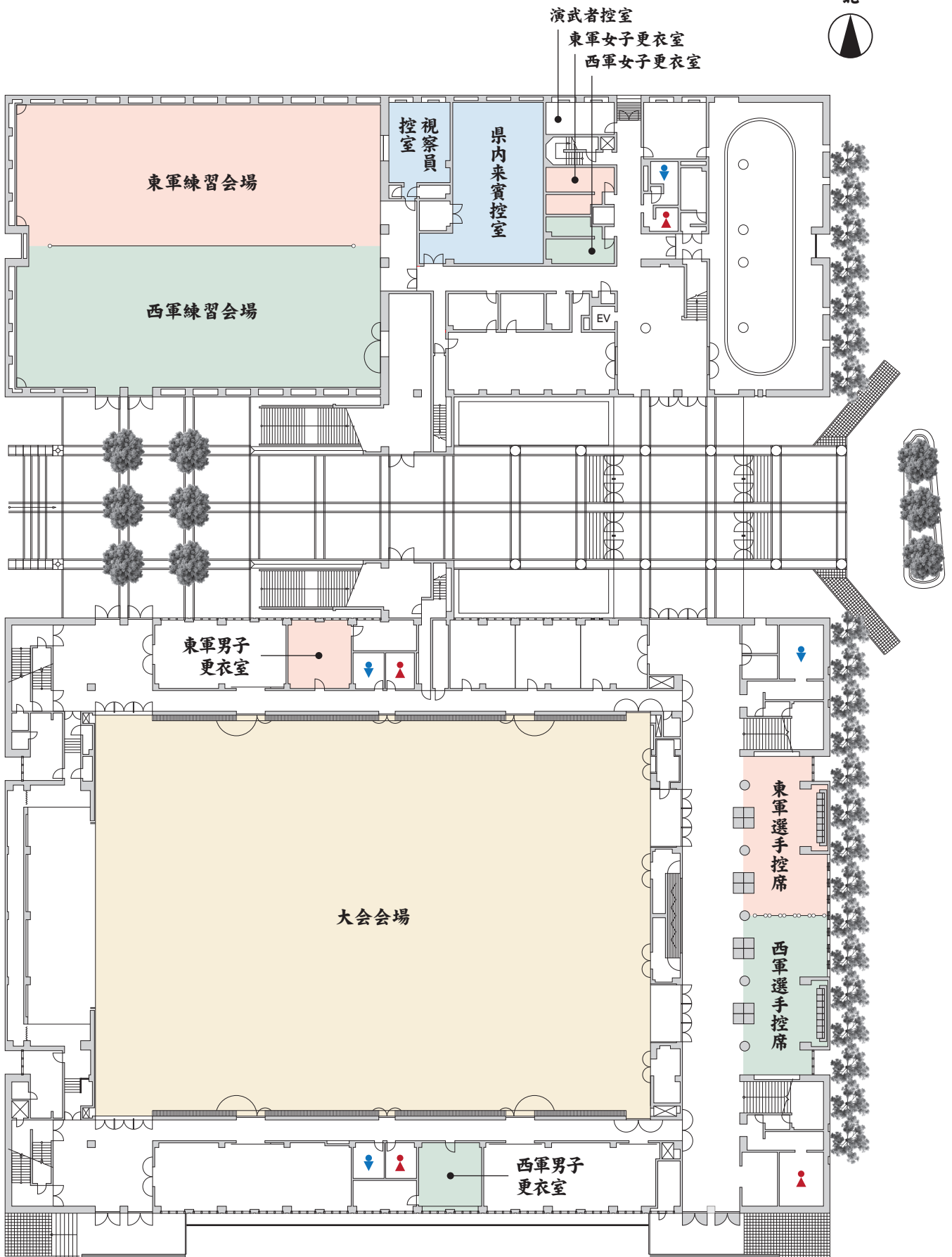
通算成績

回次	期日	会場	勝敗	個人成績
第57回	平成23年(2011年) 9月18日	山形県上山市 体育文化センター	対試合 西軍19-16 東軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 石田洋二(大阪) - 宮崎史裕(神奈川) 亀井 徹(熊本) - 濱崎 満(東京) 優秀選手賞 男子 石田 充(山形) 清水新二(熊本) 笠村浩二(神奈川) 河田清実(徳島) 下諸純孝(島根) 女子 石田真理子(大阪)
第58回	平成24年(2012年) 9月16日	宮崎市 宮崎県武道館	対試合 西軍19-16 東軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 軽米拓磨(千葉) - 加治屋隼人(岡山) 香田郡秀(茨城) - 山中洋介(鳥取) 優秀選手賞 男子 平野誠司(徳島) 長友康範(宮崎) 内濱誠志(兵庫) 小山正洋(静岡) 畠山隆吉(愛知) 女子 田中百合香(京都)
第59回	平成25年(2013年) 9月15日	山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園 武道館	対試合 東軍23-12 西軍 女子の部 西軍4-1 東軍	優秀試合賞 男子 吉田茂生(徳島) - 栄花直輝(北海道) 石塚美文(大阪) - 濱崎 満(東京) 優秀選手賞 男子 内村良一(東京) 寺本将司(大阪) 上原勲雄(山梨) 古川和男(北海道) 佐藤桂生(兵庫) 女子 宮崎幸恵(佐賀)
第60回	平成26年(2014年) 9月21日	島根県立浜山体育館 (カミアリーナ)	対試合 東軍19-16 西軍 女子の部 西軍4-1 東軍	優秀試合賞 男子 清野 忍(山梨) - 平野誠司(徳島) 香田郡秀(茨城) - 山中洋介(鳥取) 優秀選手賞 男子 上園 修(鹿児島) 石井勝義(福島) 鍋山隆弘(茨城) 亀井 徹(熊本) 石田利也(東京) 女子 杉本早恵子(京都)
第61回	平成27年(2015年) 9月6日	熊本市総合体育館	対試合 西軍20-15 東軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 宮崎正裕(神奈川) - 松本政司(香川) 塚本博之(東京) - 亀井 徹(熊本) 優秀選手賞 男子 小田口亨弘(岩手) 清水新二(熊本) 寺本将司(大阪) 上地安一郎(沖縄) 栄花直輝(北海道) 女子 早津理恵(神奈川)
第62回	平成28年(2016年) 9月18日	福島県 郡山総合体育館	対試合 西軍19-16 東軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 稲富政博(佐賀) - 佐藤勝信(東京) 江口忠文(大分) - 末平佑二(石川) 優秀選手賞 男子 鈴木洋隆(福島) 佐藤博光(大阪) 鍋山隆弘(茨城) 高橋英明(京都) 東 良美(愛知) 女子 緒方有希(熊本)
第63回	平成29年(2017年) 9月10日	福岡市民体育館	対試合 東軍18-17 西軍 女子の部 西軍4-1 東軍	優秀試合賞 男子 栄花直輝(北海道) - 蓮尾孝幸(福岡) 石田利也(東京) - 山中洋介(鳥取) 優秀選手賞 男子 立花義人(福岡) 竹中健太郎(鹿児島) 佐賀 豊(北海道) 大城戸功(愛媛) 豊村東盛(東京) 女子 小津野祐佳(岡山)
第64回	平成30年(2018年) 9月2日	仙台市青葉体育館	対試合 東軍18-17 西軍 女子の部 東軍4-1 西軍	優秀試合賞 男子 小野田稔秀(長崎) - 高鍋 進(神奈川) 二子石貴資(兵庫) - 氏家道男(東京) 優秀選手賞 男子 佐藤充伸(宮城) 末益正紀(鹿児島) 大澤規男(埼玉) 石田洋二(大阪) 古川和男(北海道) 女子 小又友美(東京)
第65回	令和元年(2019年) 9月22日	浜松アリーナ	対試合 東軍25-10 西軍 女子の部 西軍3-2 東軍	優秀試合賞 男子 松本政司(香川) - 寺地賢二郎(東京) 山中洋介(鳥取) - 石田利也(東京) 優秀選手賞 男子 内村良一(東京) 寺本将司(大阪) 栄花直輝(北海道) 宮崎正裕(神奈川) 下島貴代一(岐阜) 女子 山本真理子(大阪)
第66回	令和2年(2020年) 9月6日	昭和電工 武道スポーツセンター	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	
第67回	令和3年(2021年) 9月5日	昭和電工 武道スポーツセンター	対試合 東軍18-17 西軍 女子の部 東軍3-2 西軍 ※女子5人・男子35人制	優秀試合賞 男子 古川和男(北海道) - 大城戸功(愛媛) 女子 平塚恭子(山梨) - 下川美佳(鹿児島) 優秀選手賞 男子 天野 聡(神奈川) 小関太郎(東京) 竹中健太郎(鹿児島) 稲富政博(佐賀) 東 良美(愛知) 女子 正代小百合(東京)

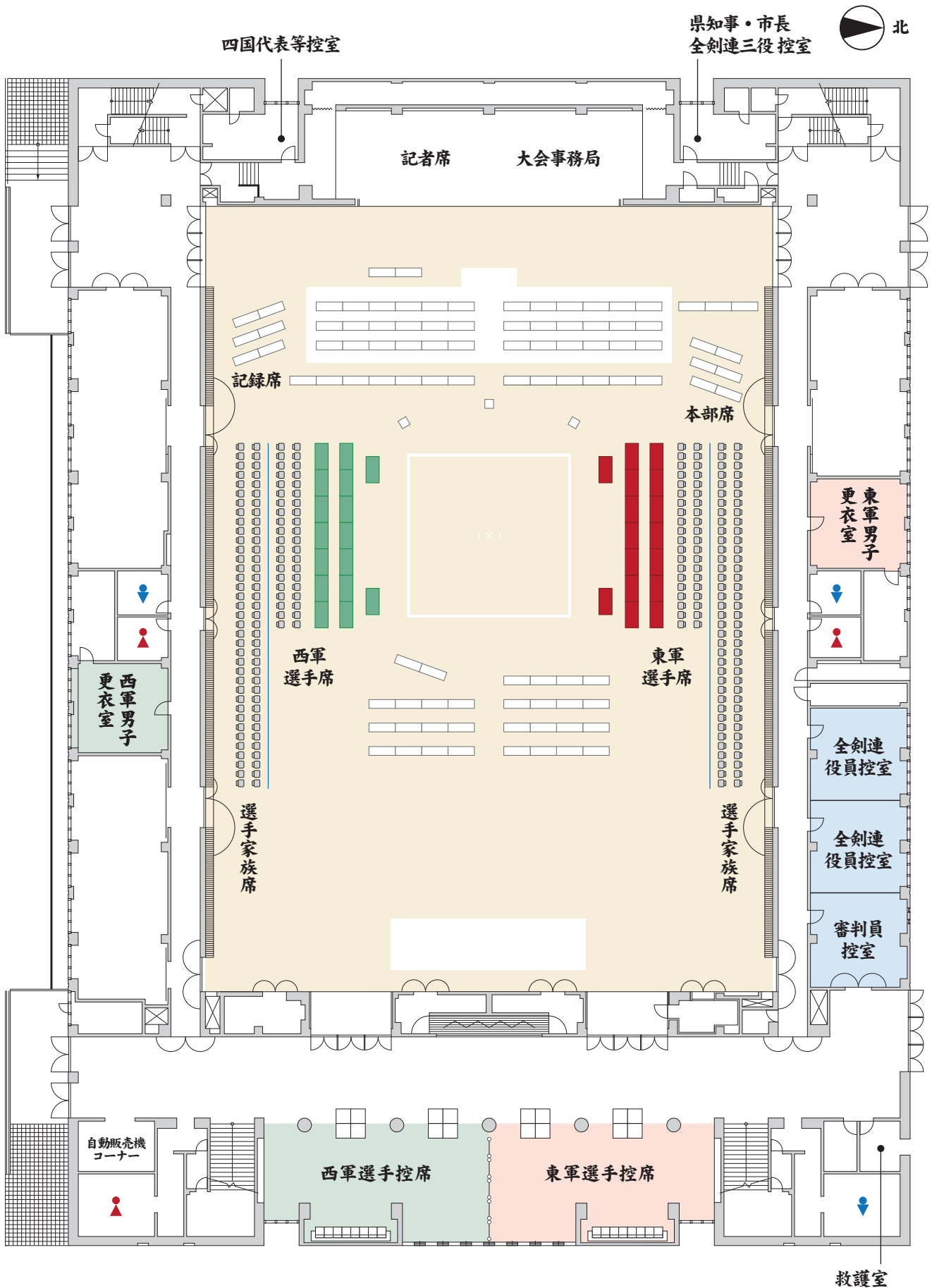
通算成績

回次	期日	会場	勝敗	個人成績
第68回	令和4年(2022年) 9月18日	神戸市立中央体育館	女子の部 東軍 3 - 3 西軍 引き分け 3 男子の部 東軍 15 - 12 西軍 引き分け 4 ※男女総合成績で東軍の勝ち ※女子9人・男子31人制	優秀試合賞 男子 石田利也(東京) - 船津晋治(大阪) 女子 寺地里美(東京) - 石田真理子(大阪) 優秀選手賞 男子 大城戸知(大阪) 松本政司(香川) 佐賀 豊(北海道) 鈴木 剛(千葉) 内村良一(東京) 女子 村山千夏(埼玉)
第69回	令和5年(2023年) 9月24日	沖縄県立武道館	女子の部 西軍 4 - 2 東軍 引き分け 3 男子の部 西軍 13 - 6 東軍 引き分け12 ※女子9人・男子31人制	優秀試合賞 男子 高添政史(山梨) - 仲間洋輔(沖縄) 岩脇 司(石川) - 大淵 量(福岡) 優秀選手賞 男子 土谷有輝(大阪) 古畑健吾(宮城) 下池浩司(千葉) 田中武志(京都) 松下悦郎(鹿児島) 女子 西 晴乃(鹿児島)
第70回	令和6年(2024年) 9月15日	香川県 高松市総合体育館	女子の部 男子の部 ※女子9人・男子31人制	優秀試合賞 男子 () - () () - () 優秀選手賞 男子 () () () () () 女子 ()

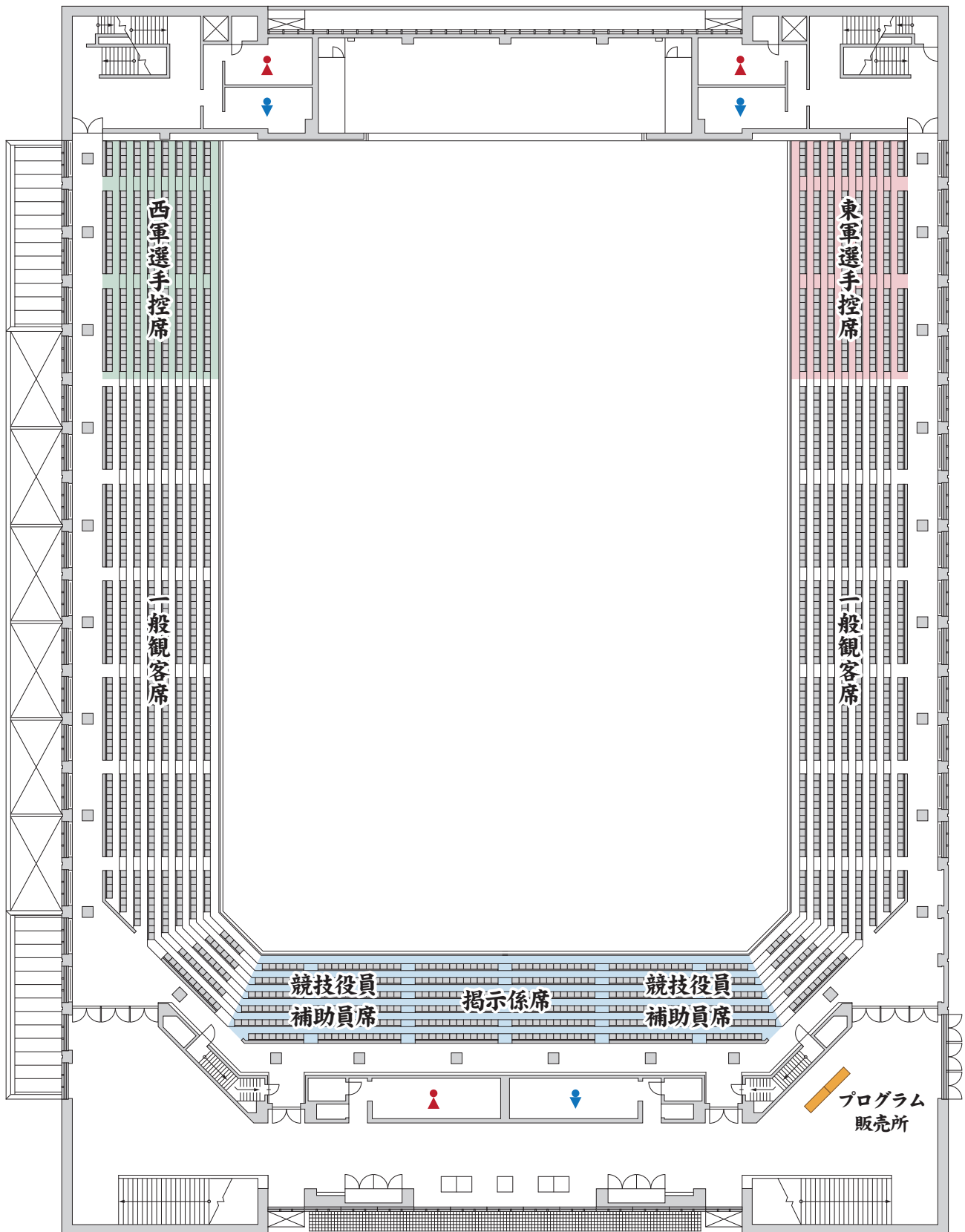
高松市総合体育館 会場案内図



高松市総合体育館 会場案内図 1階



高松市総合体育館 会場案内図 2階



全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

令和6年8月21日 現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	TEL 03(3211)5804	FAX (3211)5807
会長 網代忠宏	九段事務所	102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階	TEL 03(3234)6271	FAX (3234)6007

地方代表団体	会長	郵便番号	事務局所在地	電話番号	FAX番号
(一財)北海道剣道連盟	武田 牧雄	062-0905	札幌市豊平区豊平五条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662・1663	(820)1662・1663
青森県剣道連盟	三上 順一	038-0059	青森市大字油川字中道19-6	017(787)2485	(787)2485
秋田県剣道連盟	小松 誠	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10	018(838)1783	(845)3255
山形県剣道連盟	安部美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県剣道連盟	小笠原宏志	020-0133	盛岡市青山4-13-30 (公財) 岩手県体育協会会館内	019(645)2220	(645)2220
(一財)宮城県剣道連盟	井上 雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県剣道連盟	長谷川弘一	960-0102	福島市鎌田字町23 サラダハウスA101号	024(597)8218	(597)8218
(一財)茨城県剣道連盟	水田 重則	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県剣道連盟	白石 正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館2階	028(624)4567	(627)4001
群馬県剣道連盟	小林 一隆	371-0047	前橋市関根町3-27-12	027(235)0870	(235)0870
(公財)埼玉県剣道連盟	栗原 憲一	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎4階	048(834)8869	(834)8879
(一財)東京都剣道連盟	千葉 胤道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一財)千葉県剣道連盟	忍足 功	263-0024	千葉市稲毛区六川2-3-20	043(285)4331	(285)4333
神奈川県剣道連盟	幸野 實	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1 相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175	(321)6176
山梨県剣道連盟	山本 洋一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162	(278)6163
(一財)新潟県剣道連盟	荻荘 誠	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル2階	025(384)4784	(384)4794
(一財)石川県剣道連盟	南 信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号	076(253)0310	(253)0341
(一財)富山県剣道連盟	大門 進	939-8076	富山市太郎丸2-77 伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一財)福井県剣道連盟	片山 外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一財)長野県剣道連盟	二木むつみ	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939	(235)8266
(一社)静岡県剣道連盟	二橋 高弘	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428	(263)8367
(一財)愛知県剣道連盟	大嶽 將文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県剣道連盟	堤 俊彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12 岐阜県水産会館611	058(274)1521	(274)8949
三重県剣道連盟	中森 博文	514-0007	津市大谷町152 大谷ハイム1-202号	059(226)5975	(229)7407
(一財)滋賀県剣道連盟	中野 正堂	524-0022	守山市守山4-7-20 辻田ビル2階	077(514)3165	(514)3178
(一財)京都府剣道連盟	伊吹 文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19	075(761)8288	(761)8287
(公社)大阪府剣道連盟	長榮 周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館502	06(6351)3345	(6351)3346
(一財)奈良県剣道連盟	吉田 克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14 不動ビル505号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県剣道連盟	世耕 弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(公財)兵庫県剣道連盟	神谷 明文	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145	(802)5240
(一財)岡山県剣道連盟	藤田 長久	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一財)広島県剣道連盟	田中 秀和	730-0014	広島市中区上幟町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一財)山口県剣道連盟	中西 章	753-0083	山口市後河原237-1 警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
(一財)鳥取県剣道連盟	岸田 芋	680-0036	鳥取市川端3-216 瀧本ビル3階	0857(29)2668	(29)2668
島根県剣道連盟	高木 弘伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1 鬼村純方	0852(27)6222	0852(27)6222
香川県剣道連盟	三原 悦男	760-0033	高松市丸の内4-6 アラキビル2階南	087(880)4463	(880)4467
(一社)愛媛県剣道連盟	俊野 徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28 福泉ビル205号	089(941)9394	(941)3013
高知県剣道連盟	渡邊 三則	781-5102	高知市大津甲2009-34	090-1009-6857	
徳島県剣道連盟	藤川 和秋	770-0861	徳島市住吉3-9-6 栗本マンション106号	088(652)2337	(652)2360
(公社)福岡県剣道連盟	青柳 俊彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1 福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
(一社)佐賀県剣道連盟	川上 春生	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一財)長崎県剣道連盟	灰谷 達明	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095(826)5220	(826)5220
(一財)大分県剣道連盟	三浦 悟	870-0820	大分市西大道1-1-76 第2ハルキコーポ101号	097(547)9980	(547)9981
(一財)熊本県剣道連盟	尾方 正照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県剣道連盟	橋口 光博	880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890	(62)3893
鹿児島県剣道連盟	野村 良三	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20 県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一財)沖縄県剣道連盟	親川 光俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410	(996)4616

月刊 剣窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

全日本剣道連盟発行 頒布物一覧

令和6年9月

頒布物名	価格	重量	厚さ
剣道試合・審判規則	¥400	66g	3mm
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43g	2mm
FIK 剣道試合・審判規則 (和英版)	¥1,000	140g	5mm
居合道試合・審判規則	¥500	55g	3mm
杖道試合・審判規則	¥500	58g	3mm
称号・段級位審査規則	¥400	81g	3mm
日本剣道形解説書	¥200	93g	2mm
日本剣道形解説書 (英語版)	¥900	240g	5mm
居合解説	¥250	74g	3mm
居合解説 (英語版)	¥500	79g	3mm
杖道解説	¥500	186g	7mm
杖道解説 (英語版)	¥900	183g	7mm
剣道指導要領	¥2,900	554g	7mm
剣道指導要領 (英語版)	¥3,400	858g	11mm
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144g	2mm
剣道和英辞典 (第3版)	¥2,100	283g	14mm
剣道社会体育教本 (改訂版)	¥2,100	664g	13mm
剣道医学Q&A (第3版)	¥2,100	785g	15mm
剣道講習会資料	¥500	310g	8mm
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175g	2mm
木刀による剣道基本技稽古法 (英語版)	¥700	173g	2mm
剣道用具の保守・管理 (英語版)	¥400	69g	3mm
剣道授業の展開 (DVD付き)	¥1,000	346g	7mm

頒布物名	価格	重量	厚さ
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627g	11mm
木刀による剣道基本技稽古法DVD	¥3,600	92g	15mm
居合DVD (英語版)	¥3,100	93g	15mm
剣道人バッジ (ネジ・タック)	各¥1,800	13g	16mm
カフス・タイピン (真鍮バー)	¥6,100	66g	30mm
FIKバッジ (ネジ)	¥1,100	19g	18mm
男子審判用ネクタイ	¥2,500	58g	16mm
女子審判用ネクタイ	¥2,000	52g	9mm
竹刀検査用基準器 ゲージ1 (先革先端部最小直径計測用)	¥4,600	55g	3mm
竹刀検査用基準器 ゲージ2 (ちくとう対角計測用)	¥4,600	55g	3mm
竹刀検査用基準器 検査台 (ちくとう対角計測用)	¥9,800	510g	25mm
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620g	28mm
ぶしし手ぬぐい (白・紺・黄)	各¥600	38g	4mm
ぶししクリアファイル (5枚セット)	¥500	127g	2mm
ぶししステッカーシート	¥200	8g	1mm
ぶししラバーキーホルダー	¥800	19g	5mm
ぶししポロシャツ ネイビー (S・M・L・XL)	各¥2,500	226g	20mm
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256g	210mm
設立七十周年記念出版 「全剣連と剣道界 この十年の歩み」	¥2,500	980g	28mm

*品物はすべて消費税込みとなります。
*全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

購入申し込み方法

(1) インターネットからのお申し込み <https://zenkenren-shop.com> 



(2) FAXでのお申し込み...心力舎企画株式会社 03-3451-6905 へFAXして下さい。

① 品物名、② 数量、③ 支払い方法、④ 発送方法、⑤ 氏名、⑥ 住所、⑦ 電話番号、⑧ FAX番号をご記入下さい。

お支払い金額(品物代金+送料)を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法 (②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料 (送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

① 宅配便・・・送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。

また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便・・・(この場合、代金引換はご利用いただけません。)

全国一律、500円で、A4サイズ(厚さ20mmまで)の品物の配送に利用いただけます。

* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。

題字

第七十回記念 全日本東西対抗剣道大会

平安時代の能書家で、「三筆」と称される弘法大師空海の筆遣いを、香川大学が人工知能（AI）を使って再現しました。現存する史料をAIに学習させ、2つのAIを競わせる「GAN（敵対的生成ネットワーク）」という手法を採用。一方が空海の書跡に近い文字を生成し、もう一方がその精度の判定を繰り返すことで、次第に空海の筆致に近づけていきます。

空海は宝亀5年（774年）、讃岐国多度郡屏風浦（香川県善通寺市）で生まれたという説があります。真言宗の開祖としても有名です。

制作

香川大学 創造工学部・イノベーションデザイン研究所 教授 岡崎慎一郎
香川大学 大学院創発科学研究科 博士後期課程 我部山喜弘

監修

香川大学 教育学部 書道研究室 教授 小西憲一

表紙

源平合戦図屏風（部分）（江戸時代17世紀）

屋島（高松市）の合戦を華麗な色彩で描いた屏風絵。画面の左から右へ

- 那須与一が扇の的を射落とした場面（画面中央部）
- 平家方の悪七兵衛景清と源氏方の三保谷十郎が格闘し、逃げる十郎の胃の綴を景清がひきちぎった場面（画面右上部）
- 源義経が弱い弓と知られないよう、落とした弓を命がけで拾う場面（画面右中央部）

が描かれている。生き生きとして源平の武士たちの姿は、合戦のエネルギーを伝えるとともに、「武者の世」の到来をも告げる。

所蔵

香川県立ミュージアム

第七十回記念 全日本東西対抗剣道大会

期 日 令和6年9月15日（日）

会 場 高松市総合体育館 第1競技場
〒760-0066 香川県高松市福岡町4丁目36-1

主 催 公益財団法人 全日本剣道連盟
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階
TEL：03-3234-6271 FAX：03-3234-6007

主 管 香川県剣道連盟
760-0033 香川県高松市丸の内4-6 アラキビル2階南
TEL：087-880-4463 FAX：087-880-4467

デザイン・印刷 株式会社RINGUEデザイン事務所

本大会は、公益財団法人 高松観光コンベンション・ビューロー補助事業により実施しています。

私たちは《剣道》を応援しています



トヨタ自動車株式会社

